

～歯と口の健康習慣 (6月4日～6月10日)に寄せて～

沖縄県歯科医師会 学校歯科委員会 副委員長 神下 太一



6月4日から10日の1週間は「歯と口の健康週間」です。この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。日本歯科医師会では、今年「歯みがきで 丈夫な体の 基礎づくり」の標語のもと「心と体を支える歯と口の健康づくり～生涯にわたる口腔健康管理の推進～」を重点目標として、各県において啓発事業を行います。

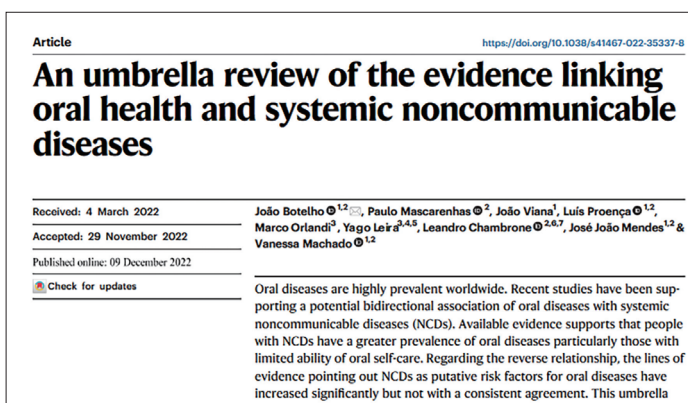
現在、日本は超高齢化社会に突入しており「2025年問題」がいよいよ現実のものとなってきました。「2025年問題」は約800万人の団塊の世代のすべてが75歳以上の後期高齢者となる一方で、少子化が進むことで、地域・社会の担い手の減少、現役世代の負担増加、経済・市場規模の縮小や経済成長率の低下など、広範かつ多大な影響を及ぼす深刻な問題が起こるとされています。子供の多いイメージのある沖縄県も、2022年ごろから人口減少のフェーズに入っ

ており、すでに様々な場所で人手不足の影響が出始めています。歯科医院の現場でも数年前から人手不足は切実な問題です。

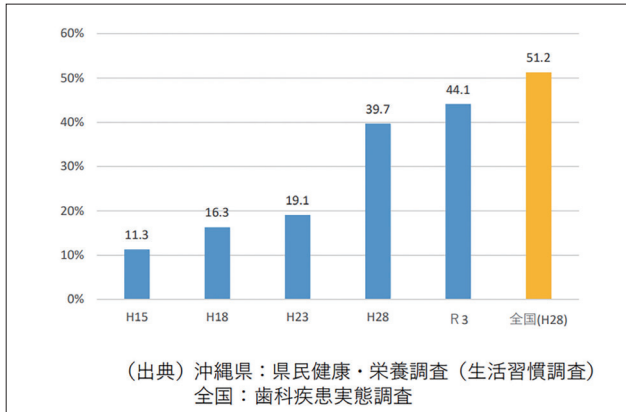
高齢者の増加は今後も続き、社会保障費は増大し続ける試算となっており、対策として、高齢者一人一人が健康寿命を延ばすこと、社会を支える現役世代が肥満・生活習慣病の発症を減らし、健康でいることが求められます。沖縄県はと言いますと2025年の年末に公表された健康寿命の全国比較で、残念ながら、男性45位、女性46位と大きく順位を落とす結果になってしまいました。歯科医師の立場から、沖縄県が今後、健康長寿を伸ばすためには、「歯と口の健康づくり」～「生涯にわたる口腔健康管理の推進」は県全体で取り組むべき重要なテーマと考えます。近年、お口の健康は体の健康につながるという研究データが数多く発表されるようになり、中でも2022年に世界的に権威のあるイギリスの科学雑誌「Nature」に掲載された論文「An umbrella review of the evidence linking oral health and systemic noncommunicable diseases：歯科疾患と生活習慣病の関連」では膨大なシステマティックレビューをさらに統計



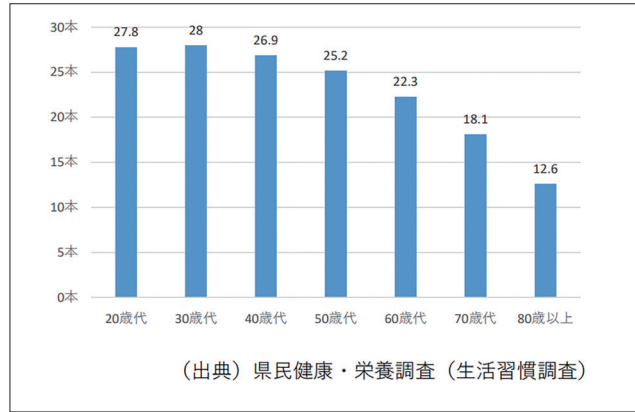
R7 歯・口の健康週間ポスター



アンブレラレビュー



8020 達成者の割合



1 人平均現在歯数

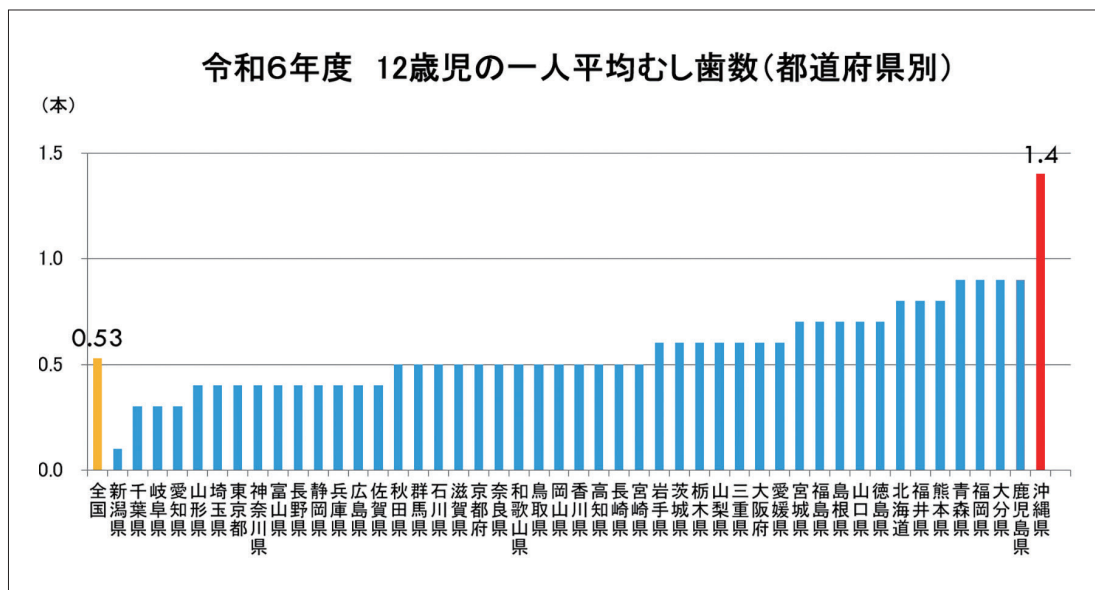
分析した「アンブレラレビュー」という手法で歯の健康が体の健康に大きく関わっていることが科学的な根拠として示されました。

歯科疾患が合計 28 種類の NCDs と大きく関連しているという結論で、その中には心血管疾患、肥満、糖尿病、認知症、慢性腎臓病も含まれています。

沖縄県内の口腔状況を調べてみますと、70 歳代の一人平均現在歯数は 18.1 本で 20 本に及ばず、80 歳で 20 歯以上の歯を有する者「8020 達成者」の割合は 44.1% で、全国 51.2% に及びません。

さらに 12 歳児一人平均むし歯保有数も全国平均 0.53 本に対し、沖縄県は 1.4 本と全国比較でもワースト 1 の状況です。

全国に先駆けて学校での「フッ化物洗口」を開始した新潟県は、12 歳児一人平均むし歯保有数 0.1 本、有病者率 10% を達成し、むし歯は予防できる疾患であることを示すと共に保育所や小中学校など「地域で行うフッ化物洗口」は、地域間、家庭間の差によって生まれる「健康格差」への有効的な対策の一つとなる事を示しています。沖縄県の 12 歳児の一人平均むし歯保有数は 1.4 本に対し、新潟県は 0.1 本です。新潟県の子供達に比べ 14 倍むし歯になりやすい環境で育つ沖縄の子供達が、将来、健康な成人、健康な老人になることはできるのでしょうか？新潟県で行われている「フッ化物洗口」は有効性と安全性が高く示され、WHO も推奨しているむし歯予防法で、いまようやく沖縄本島でも一部の小学校で導入が始まっています。



12 歳児の一人平均むし歯保有数

また近年では、学校給食で出されたウズラの卵などを上手く呑み込めず、のどに詰まらせる事故も起きております。口腔の発達が遅れることによって、食べ物を噛む・飲み込む・話すなどの口腔機能が正常に発達しない状態を指す、「小児の口腔機能の発達不全症」への対応もこれからの重要な課題です。

「心と体を支える歯と口の健康づくり ～生涯にわたる口腔健康管理の推進～」は健康長寿おきなわ復活に向け、県民全体で考える重要なテーマとなります。

沖縄県歯科医師会では「歯と口の健康週間」に合わせてデンタルフェアを行います。

各会場さまざまな催しを執り行っています。是非、医師会会員はじめ、多職種、県民の皆様への周知並びにフェア会場へご来場いただければ幸いです。

実施期日および場所

【南部地区】

日時：6月8日(日) 10:00～14:00

場所：サンエー那覇メインプレイス

1F 中央コート

3F 踊り場

【中部地区】

デンタルフェア in 中部

日時：6月7日(土) 10時～16時

場所：ちやたんニライセンター

【北部地区】

※図画ポスター展

日時：6月1日(12時～)～6月8日

場所：名護博物館展示場

※デンタルフェア北部

日時：6月8日(12時～)【開会式:11時半～】

場所：イオン名護ショッピングセンター

【八重山地区】

八重山地区では6月7日(土)

石垣市健康福祉センター

お知らせ

文書映像データ管理システムについて(ご案内)

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成23年4月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」(下記 URL 参照)をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局(TEL098-888-0087 担当:宮良・國吉)までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

○「文書映像データ管理システム」

URL : <https://www.documents.okinawa.med.or.jp/Dshare/header.do?action=login>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

